

(連結情報)

I. 銀行および子会社等の状況

●企業集団の組織構成

株式会社佐賀共栄銀行 — 国内 — 本店ほか支店33か店、合計34か店

●連結子会社の状況

当連結会計期間において、当行の連結子会社であった株式会社きょうぎんビジネスサービスが、平成18年6月末に清算終了したため、該当する会社はなくなりました。

●営業の概況

当連結会計期間 $\left[\begin{array}{l} \text{自 平成18年4月 1日} \\ \text{至 平成19年3月31日} \end{array} \right]$

当連結会計年度につきましては、投資信託や個人年金保険の販売により役務取引等収益は増加となりました。しかし、地域経済の本格回復が遅れているなか、貸出金残高が減少し、貸出利回りも、平成18年下期には上昇に転じましたが、個人ローンの減少や佐賀県内での金融機関間の競争激化もあり、通期では低下し、貸出金利息は減収となり、資金運用収益が減少しました。その結果、連結経常収益は、前期比3億7千7百万円減少して、69億3千2百万円となりました。

一方、連結経常費用は、預金利回りの上昇等により、資金調達費用が増加しましたが、一般貸倒引当金の取り崩しにより、前期比3億3千4百万円減少して、59億3千7百万円となりました。

この結果、連結経常利益は、前期比4千3百万円減少して、9億9千4百万円となりました。

また、法人税、住民税及び事業税等を控除しました連結当期純利益は、前期比2億1千6百万円減少して、3億7千1百万円となりました。